

住商同窓会報

発行・大阪市立住吉商業高等学校同窓会 〒559-0013 大阪市住之江区御崎7-12-55 (題字・松本善次)

母校は心の故郷 楽しい集いに参加しましょう

平成15年度



同窓会総会及び懇親会開催

＊日時 5月18日(日) 午前11時より

(午前10時より受付開始)

＊総会会場 母校視聴覚室

- ◇平成14年度事業及び決算報告
- ◇平成15年度事業計画・予算案審議等
- ◇平成15・16年度役員改選

＊懇親会会場 母校食堂 12時より

- ◇立食パーティー、恩師をまじえお喋りしよう
- ◇嬉しい賞品が貰えるビンゴゲーム大会

会費

- ◇新卒業生 無料
- ◇平成11～14年卒業生 1,000円
- ◇他の先輩 2,000円

◎今年も新入会員が楽しい企画で
以って盛りたてて下さいます。

★『会員名簿』★

「会員名簿」 1冊 3,500円(送料込み)

＊ご購入の方は事務局までお申出下さい。

☎ 06-6681-0577

◎総会当日、受付でも販売致しております。

大阪市立住吉商業高等学校校歌

一、古き歴史の住之江や
色こき緑日に映えて

根深く生うる若松の
栄かゆく木の頼もしき
われら われらの
住吉商業高校

二、嵐吹くとも地ゆるとも
心はかたき金剛の

雄々しき姿仰ぎつつ
学びの道に勤むなる
われら われらの
住吉商業高校

三、流れ豊かに大和川
鏡の如き水の面

汚れに染まぬ若き日の
尽せぬ命たえつつ
われら われらの
住吉商業高校

四、平和日本の動脈と
名に負う都大阪の

運命を荷う若人の
行手を照らすともしびは
われら われらの
住吉商業高校

ごあいさつ

同窓会会長 後藤 雄



清々しい新緑の候 同窓会会員の皆様には、益々ご健勝の事とお喜び申し上げます。

日頃は、会の運営発展に多大のご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

三月六日には第五十五回卒業証書授与式が挙行政され、今年も新進気鋭の若い諸君二百十九名が同窓会会員の仲間としてお迎えしました。

母校は、卒業生にとって心の故郷であります。同じ校舎で学び、勉学にクラブ活動に励み、楽しい青春を謳歌し果立って行きました。

そして皆さんはクラス会、クラブのOB会と多くの会合を開催されておられますが、いざ同窓会総会となると参加者が少なく敬遠され、毎年同じ顔ぶれといった非常に寂しい状態です。

ご承知の通り五月十八日(日曜日)に同窓会総会を開催致します。毎回紙面にて総会へのご参加をお願い致して

おります。

是非多くの方々が参加して頂き、今後の同窓会発展の為また、総会が活性化できる貴重なご意見を頂きたいと存じます。

特に今春卒業された方々は新しい道の第一歩を踏み出され、学校や友人達との楽しかったことを思い出されている頃ではないでしょうか。

今年の総会も第二部で色々な行事を企画しております。友人達と再会する為にも総会に参加して楽しいひと時を過ごして下さい。

今年から商業科総合選択制が実施され、私達母校も大きく変わろうとしております。昭和十五年に創立され六十年の歳月が流れ、「万里の波濤を越えて海外に雄飛せよ」の、初代校長松尾先生の建学の精神が、これからも若い力によって受け継がれ、さらに飛躍することを願います。



平成十四年度 大阪市立住吉商業高等学校 同窓会総会 式次第

- 一、同窓会会長挨拶
- 一、学校長挨拶
- 一、ご来賓挨拶
- 一、新入会員挨拶
- 一、平成十三年度 事業報告
- 二、会計監査報告
- 三、平成十四年度 事業計画案
- 五、閉会



平成十四年度 同窓会総会



平成十四年度 住商文化祭



平成13・14年度同窓会役員

会長	後藤 雄 (高6期)
副会長	順 信 (旧5期)
計 画	藤谷 順一 (高6期)
記 録	原 勇 實 (高14期)
監 査	浦田 忠 夫 (高18期)
幹 事	田 橋 幸 夫 (高8期)
相 談	村 手 幸 夫 (高24期)
	敏 秀 夫 (高24期)
	敏 秀 夫 (旧5期)
	敏 秀 夫 (高14期)
	敏 秀 夫 (高8期)
	敏 秀 夫 (高20期)
	敏 秀 夫 (高21期)
	敏 秀 夫 (高23期)
	敏 秀 夫 (高25期)
	敏 秀 夫 (高26期)
	敏 秀 夫 (旧3期)

☎ 電話勧誘にご注意を //

最近よく広告企画会社(始めは個人名を名乗ってきます)から、〇〇新聞に住商特集を掲載するので協賛広告をお願いしたいという電話勧誘があります。母校は勿論同窓会とは、一切関係がありません。名前を載せるだけで2万円ほど請求されますので呉々もご注意ください。

同窓会としても会員名簿の管理につきましては、会員皆様にご迷惑をお掛けしないよう細心の注意をはらっております。

会員皆様におきまして、新会員名簿を手入れされ旧名簿が不要となりました折には、焼却または、細かく裁断処理の程お願い致します。



商業科総合選択制

初年度を迎えて



学校長 石井雅宏

木々の緑がひととき美しい季節となつてまいりました。同窓会委員の皆様には、ますますご健勝で活躍のこととお喜び申し上げます。同窓会委員の皆様のご活躍の様子を、見聞きするにつけ、住商としましても力強く感じている次第です。また平素は本校教育の発展のため、何かとご支援ご協力を賜りまして、誠に有り難うございます。この場をお借りし厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は、学校5日制が実施されたことに端を発しまして、学力低下等の問題が種々議論を呼びました。特に目を引いたのは、「ゆとり」と「学力」が、二律背反的に議論をされてきたことではないでしょうか。しかし、「ゆとり」と「学力」は、そもそも対立的に語られる性格のものなのででしょうか。特にこれまで、日本の教育については、「受験で合格を目的とした詰め込み型教育のため、知識の量は持っているが、独創性・創造性に欠ける」「量として持っている知識を活用していない」等々とその問題点が指摘され続けてきました。またこのような教育を受けた人材が社会を担うようになった結果、社会全体が活力を失っているとも指摘されてきました。確かに、現在の日本を考えた時、社会的・経済的に困難な状況にあるにもかかわらず、困難さを評論家的に解説し

たり嘆くことはあっても、状況を克服する具体的な取り組みがなされていないことも事実であります。ひるがえって、商業教育の現状を省みたと時、商業教育の危機が叫ばれて久しくなりますが、その状況にもあまり大きな変化が見られないのが現状であります。

私は、商業教育に求められておりますものも、教育全般と同様に獨創性・創造性ではないかと考えております。より商業教育的に言えば、変革期の社会・経済の中にあつて、自らのアイデンティティを失わず、同時に柔軟な思考でビジネスチャンスを切り開いていくビジネスのスペシャリストの育成。これが商業教育に求められている大きな課題ではないかと考えております。

住吉商業高校が、検討に検討を重ねてまいりました商業科総合選択制は、そのような商業教育の将来像への、住商としての提案であると思自負しているところでございます。そして、その初年度を、いよいよ今年踏み出すことになったのであります。住商がめざした商業教育とは、端的に言えば、生徒の興味関心及び適正といった個性を基礎に、生徒自身に自主的・主体的に商業教育を学習させようとするものです。

具体的には、1年生では基礎科目を全員が共通に学習しますが、並行して商業教育に関するガイダンスを行い、2年生以降は、自分自身の選択で自分自身の学習を決定し、学習を深めさせようというものです。言わば、「自分らしい商業教育の学び」を「自分自身で設計する」ことをめざしています。

もちろん、科目の選択によっては、就職のみならず進学にも十分対応できます。これからの住商は、就職に

強いと言う伝統的な強みを保持しつつ、進学にも対応できる学校でありたいと考えています。

お陰様でこのような住商の提案は、中学校や中学生及びその保護者の方を中心に、一定の評価を頂きました。とりわけ、3月に行われました入学式選抜におきましては、定員を大幅に上回る中学生から志願をいただきました。その反響の大きさに、教職員全員が改めて手応えと責任の重さを感じているところであります。今後、住商に求められますものは、理念に相応しい教育内容であります。

そのため現在住商では、各種検討委員会やプロジェクトチーム等を立ち上げ、全教職員が分担し英知を集めて、教育内容を検討しております。当然のことながら、学習指導要領にはない、住商独自の学校設定科目も準備し、その内容についても鋭意検討を重ねております。

しかしながら、このような新しい商業教育への取り組みは、学校の枠に閉じこもってでは成功しないと考えております。中学校や大学といった教育機関はもとより、広く社会との連携を持つことによって、実学としての商業教育が実を結ぶと考えております。そのような考えのもと、今年度は本校の教員を民間企業に派遣して研修を積ませる等、様々な取り組みをしておりますが、同時に同窓生の皆様の実社会での経験と知恵を拝借したいと考えております。そのような折には、是非とも住商にお力添えいただきたいと考えております。

商業科総合選択制第1期生を無事迎えることができましたことのご報告と、同窓会委員の皆様の一層のご支援をお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

GUIDANCE

住商が生まれ変わりました

住商 SCHOOL

魅力あふれる学校

『商業科総合選択制』

1年次で基礎学力をしっかりと身につけたうえで、2年次より6つの系から1つの系を選び、系内選択や自由選択により得意分野を伸ばし、進路目標にあった学習ができます。

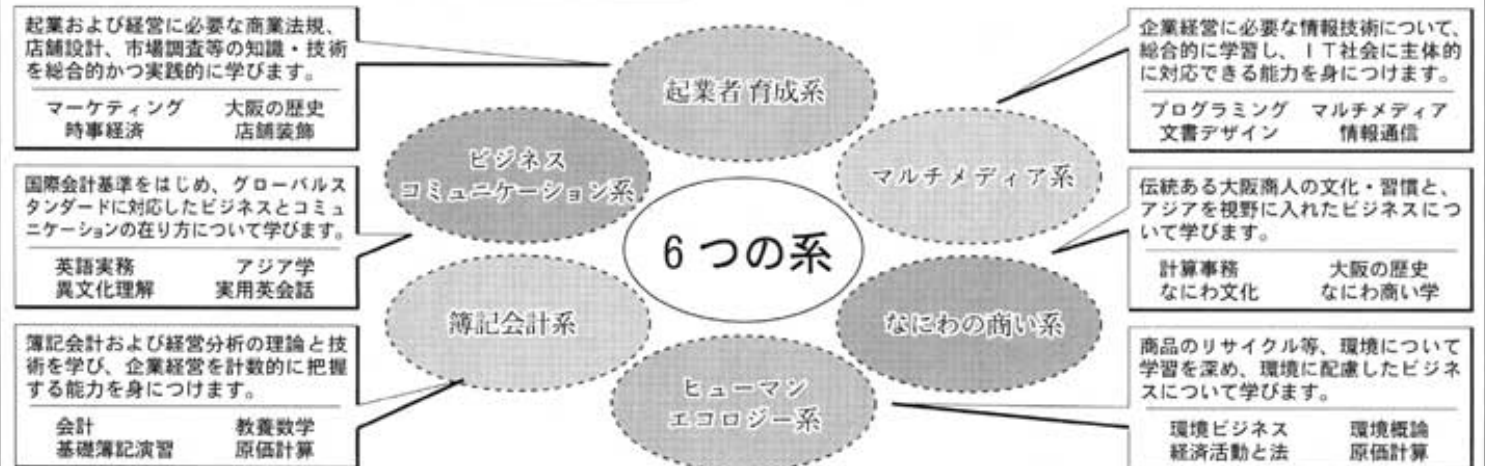
3つのポイント

- 豊富な知識を幅広く得られる
- 自分の興味・関心にあった科目を選択できる
- 将来の選択肢が広がる

教育課程

1年	国語総合	地理A	数学I	理科総合B	体育	英語I	ビジネス基礎	情報処理	簿記	商業技術	総合的な学習の時間 L・H・R
2年	世界史A	生物I 化学I	体育	保健	芸術	家庭総合	コミュニケーション実践	系指定	系内選択	自由選択	
3年	現代社会	体育	保健	家庭総合	課題研究	総合実践B	系指定	系内選択	自由選択		

6つの系



心の故郷

母校への便り

● 恩師より

美術館より

元校長 佐藤 嘉則

(在任 平成6年〜平成13年)
住商高を平成十三年三月に定年退職し、早三年目になりました。住商校には平成六年に着任し、七年間在籍し一期一会のもと数多くの人たちに接し、お陰様で未だに懇意にして頂き感謝すると同時に、お世話になった皆様方にお礼申しあげます。

過ぎ去ってみると、あの時に、あの人と、あのようにつき合ったらよかったのと思ふことが多々あります。特に、あの人の立場に立ってできるだけ理解しておればこんな事にならなくていいのにと感慨に更けます。しかし、いくら年を重ねても、このことを理解していても、また同じ過ちを繰り返してしまい失笑してしまいます。ご迷惑をおかけした方々にお詫びいたします。

現在は天王寺駅に近い天王寺公園の中にある天王寺美術館付設美術研究所に勤務しています。

当研究所は慶沢園や茶臼山公園に囲まれ、芽ぐまれた環境の中にあります。自然環境に恵まれ、このじきには春の息吹きと共に桜も開花し始め、

辺り一面華やいています。美術研究所は昭和二十一年に開設され、半世紀以上経ち、在籍した研究生は約七千人以上を越え、美術界に指導的役割を演じている優れたリターナーを着実に育成し、その成果をあげてきました。

日本画には、菅 橋彦・矢野橋村・生田花朝・中村貞以氏ら、洋画には須田国太郎・鍋井克之・小磯良平・赤松麟作・田村孝之介氏ら、彫塑には安田龍門・上田 暎氏ら堂々たる陣容が関係していました。大阪市条例にもとづき設立され、全国でも公立の研究所としては大阪市だけではないかと言われています。当初は大阪市に公立としての美術大学を設立する予定でこの美術研究所が立ち上がったと言われていますが、遺憾ながらその目的を達成できず今日迄研究所として続いています。

研究所には素描科、絵画科、そして彫刻科の三過程があり、入所検定に合格した老若男女を問わない研究生が、将来の芸術家を目指し研究活動に取り組んでいます。

研究生の中には高校を卒業したのも多く在籍し、芸術大学受験や画家を目指しているものが多々在籍しております。研究室も美術館の地下にあり、休憩時には慶沢園や茶臼山公園の中でスケッチに勤

しんだりしています。

退職してヨーロッパ一周の旅に出ました。最初はオーストリアのウィーンを皮切りにフランスまで行きましたが、最初のヨーロッパ旅行でもあったのか、至るところ感動の連続でした。特に、自然環境、石の文化、建築物、公共施設、芸術、城趾そして宮殿に至る全てに感心しました。

現在美術館に勤務している関係上、芸術関係には特に足げに通いました。人々の根底には芸術、自然環境、歴史、宗教、建築物等を大切にする意識の強さを垣間見ることができ、日本にない人間としての崇高さに感嘆しました。

GNP世界2番目だとか、経済大国だとか言われて誇張されているが、海外の文化に接してみても、「金まみれ」「物まみれ」の日本が、今人間の生き方として何を考えなければならぬのかということに痛感させられました。

現在美術館に勤務する傍々、芸術に日々接し、ヨーロッパの文化を学ぶことにより心の視野が広がったような気がします。

同窓会の皆様、大阪市美術館に歓迎します。大いに芸術文化に接する機会を設けて下さい、きっと心の栄養分となり人間哲学への憧憬が深くなることと思います。

今後同窓会の益々のご発展と、皆様方のご健勝、ご多幸をお祈り申しあげ、近況報告とさせていただきます。

時の流れに

身を任せて

元教諭 飯野 純紹

(在任 昭和27年〜昭和54年)
27年間、教員の一人として籍を置きました。その間、多くの先生方から指導や協力を得て、自己を成長させながら大過なくその責を果して参りました。加えて、生徒諸君と日々対し、教える一方教えられることも多々ありました。昭和六十一年三月、定年退職、一寸おこがましいですが教育者としての三十四年間で、二十七年が住商であったことを思う時、何を住商に、また卒業生に残したかを自省しつつも、全てのものが影もなく大河の流れの中に消えていくという人生(真理)の在り方に思いをいたし自己を慰めています。

人生八十年の時代、夫々第二の人生の歩みは異なりますが、退職後十七年の歩みの基本的姿勢の一端を述べて近況報告と致します。

(1) 自然の移りゆき・時間の流れの中に身を任せて、片意地はらず暮らしています。

(2) 歳を加えると共に、今迄に築かれた人との交流・友情の輪が狭められることに鑑み、参加しうる集まりには極力参加し、世間への開かれた眼の維持に努めています。

(3) 勉強のためには無く、楽しみとして気楽な気持ちで強制の伴わない読書に時間を費やすことも多いです。

(4) 人との通信は便利で安価な電話・ファックス等が最適ですが、私は出来るだけ、はがき・封書を利用することに努めています。少々面倒な点もありますが、古くさい人間のすることかもしれませぬ。

(5) 洪水の如く押しよせる情報過多の流れの中にあつて、右往左往している如き人の波を見るにつけ、程々に流れに付き合うことに努めています。最後に、卒業生の皆さんの益々のご発展とご健康を祈念いたしつつ筆を擱きます。

ボケ防止と

体力維持が日課

元教諭 松山 稀一

(在任 昭和27年〜平成元年)
突然にクラス初担任の教え子から、「先生どんなことでも良いので」と原稿の依頼を受けましたが、何を書いてよいものか、三十七年間にも及ぶ住商生活の思い出は、沢山あり過ぎ限られた頁数では書き尽くすことが出来ませんので、近況をお知らせすることにします。

喜寿を迎えた私の口々は、読書と数学の難問解きの頭の体操から始まります。

午後は、万歩計を腰につけ一万歩以上を目指し散歩します。散歩コースは三通り、第一は、住吉大社の東側をまわり南海高野線の住吉東の踏切を渡り万代池公園を三周し住吉公園を経て帰宅、歩数計は約一万二千歩。第二は、住吉

川の右岸の遊歩道を経て住吉公園を二周半し往路を通って帰宅、第三は、雨天のとき用で南海電車高架下を粉浜駅と住之江駅間を往復、第二と第三の歩数計は約一万歩。第一と第二は交互に行います。日曜日、天気と気分が良いときはサイクリング。

早朝自宅から大和川上流の八尾市と藤井寺市を結ぶ大正橋を渡り、大和川の支流石川に架かる臥竜橋を渡り竹の内街道をひたすら走り二上山の麓、竹ノ内峠の地蔵さんの前で自転車を降り二上山雄岳に登ります。帰路は臥竜橋より上流に架かる貴志橋を渡り石川サイクルロードを経て帰宅します。

また、気分転換に河南町にある西行法師終焉の地「弘川寺」にお参りすることもあります。

ただ最近では、余り無理をしないようにしており回数は少なくなっております。

兎に角、ボケ防止と体力維持に努めております。

他に、趣味としてデジカメとパソコン、錦鯉の飼育を楽しんでおります。

住商は我が母校

元教諭 玉岡 照宏(23期卒)

(在任 昭和60年〜平成9年)
同窓会会員の皆様には、お元氣にご活躍のこととお慶び申しあげます。私は、十二年間本校にお世話になりました。私にとって住商は、大阪市教

員としてスタートした初めての学校であり、また私が生徒として過ごした学舎でもあります。まさに名実ともに「住商」は、我が母校なのです。

昭和六十年に着任した時は、私が生徒であった頃の恩師の先生方が現役で教鞭をとっておられ、心強くもあり、また良き住商の伝統を受け継ぐことができたと思います。平成に入り、教職員員の異動等も促進され、学校の特色化を図るため、商業科にコース制が導入されました。これまでの住商の教育が大きく変わり始めた頃でもありました。そして今、第二の変革の波が押し寄せています。この平成十五年度から、新しい教育システム「商業科優良選抜制」がスタートしています。

しかし、変化の中に埋没する事なく、真に大切なものは何かを自らに問い直すときが来たように思います。確かに、進展(流行)は不可欠ですが、いかに時代が変わろうとも大切にしていかなければならぬもの(不易)を、学校・家庭・地域における教育の中で育て、守っていくべきである。そして、そこに同窓会諸先輩方のご支援があれば、不動の学校として、激動の教育環境・社会情勢等をたくましく生き抜いて行けるものと確信しています。

今、住商を離れ六年が過ぎました。現在、大阪市教育委員会会で勤務しています。外から見つめると、脈々たる伝統

の重みを実感できると共に、基礎・基本を重視した教育方針や生徒の興味・関心を引き出すきめ細かな指導が、着実にその成果を上げているのを見て取れます。生徒の皆さんには、授業で接することはできませんが、我が母校のため何ができるかを考えつつ、微力ですが今後とも頑張ってくださいと思います。

● 会員より

セピア色の思い出

長尾 宏

(昭和27年卒業)

(関西大学第一高等学校
名誉校長)

私が昭和二十一年に入学したのは、住吉商業学校であった。それが戦後の学制改革で翌々年の四月には、住吉商業高等学校併設中学校になっていた。だから、私たちは本人の意志とは係わりなく、六年間に計三つの学校で学ぶことになった。お陰でクラスメイトと長く机を並べ続けることができ、多くの友とともに、沢山の思い出を残すことができた。

とする学用品はもとより、都会での食料不足は、それは信じられないほど酷いものだったので、生徒たちはいつも飢えていた。

私たちの学校におられたM先生の郷里は香川県の小豆島だった。島ではかなり食糧が豊富にあるとかで、生徒たちに夏の何日間かでも殺伐とした都会を離れ、自然の中で生活をさせると共に、腹いっぱいとはまではいかないまでも、新鮮な野菜や魚を食べさせてやろうという事で昭和二十二年の七月に臨海学舎が行われた。

初めてみる小豆島は緑濃いオリブ畑が広がり、空と海はどこまでも青く、美しい海で私たちはくる日もくる日も朝から夕暮れ近くまで、かなり自由に泳がせてもらった。三度の食事は、いも、なす、かぼちゃが主であったが、新鮮な魚と共に、かなり十分に食べさせてもらった。

入学後も世の中は、まだ戦後の混乱状態にあった。当時の悩みは何と云っても物資の不足であり、教科書をはじめ

白馬 どんぐり村から

竹中 一雄

(昭和44年卒業)

白馬村に来て、十年。大阪で産まれ育った私にとって、白馬の大自然は、本当に、すばらしいの一言に尽きます。春は新緑とあざやかな色の花が咲き、夏は北アルプスの山からの涼しい風を受け、秋は紅葉が、いたる所で楽しめ、冬はスキー、スノーボードなど雪遊びが楽しめます。

昭和四十四年卒業、大阪市役所に勤務した二十四年間とペンションを初めてから今日までを顧みたり時、高校生活の三年間の中で学び経験したこととは、とても有意義であったと思います。

商業高校での授業は、専門的な科目が多く「こんなこと、あまり役に立たないのでは」と感じていたのが、社会に出ると、なる程ということが多くあり、ペンション経営などは、それこそ「もっと勉強しておけばよかった」と思い知らされる毎日です。



雪の降る玄関

昔は、人生五十年と言われてきたのが、今では人生八十年。自然の中で生活している者として地球の命を大切にしていけないと、せっかくの長寿社会も続かないのではと、又その命を守っていくことがどれだけ大変なことか、子供達にも教えているところだ。

大阪市役所での二十四年間は、民生局で福祉関係の仕事で、最後の職場は、西成区の愛隣地区にある更生相談所でした。二年続けて暴動が起き、大変な時でしたが、今日の不況を考えると社会の矛盾の凝縮した町に生きる人達の行き

は、勉強になります。人と人とのつながりは、本当に大事です。これからも、この白馬の地で頑張っていくことで、より多くのお客様に喜んでいただき、自然のすばらしさを体験していただくことが、私達家族の喜びでもあります。小さな子供さんからお年寄りまで、ペンション「カウベル」に泊まって良かったと、言っていたら嬉しいです。

PRになります。住商同窓会々員の皆様には、十分にサービスをさせていただきます。又、こんな旅行をしたいなど、ご要望にお応えさせていただきます。ご遠慮なくお問い合わせください。

TEL026-172-14593
FAX026-172-14597



▲ペンションのテラスから白馬三山が一望できます。フランスからホームステイで白馬高校に来ていた女子高生2人と娘たちです。

各会だより

「ふるさと会」

北関東 旅日記

平成14年5月26、
28日の二泊三日で、
東京支部企画による

日光・草津・軽井沢を巡るバ
ス旅行が催された。参加者は、
女子15名(内関西組13名) 男
子12名(内関西組8名)。

一日目の朝、集合場所の東
京駅前新丸ビル横へ着いたと
たんに警視庁の腕章をつけた
男がやってきて「天皇・皇后
が出かけられるので、交通規
制をしている。脇道へよけて
くれ」という。百m近くもあ
る広い道路で、邪魔にもなる
まいと思ったが、やむなく脇
道へ移動。やがて車列が来て、
皇后が手をふっておられるの
が見えたが、アッという間に
通り過ぎてしまうという、思
わぬハブニングに一同興奮や
ら感激に浸る。
定刻が近づいても仲良し女
三人組が姿を見せずやきもき



噴煙する浅間山を背景に(鬼押し出し園にて)

したが、東京駅構内で交通規
制にあっていたらしくやっとな
姿をみせ全員揃ったので、定
刻を若干過ぎて出発、日光へ
と向かう。
日光では東照宮だけ参観の
予定であったが、人の流れに
つられて、輪王寺まで足をの
ばしたため、出発予定時刻を
大幅に超過。中禅寺湖遊覧船
が待っていてくれていたのかど
うか危ぶまれたが、運転手が
連絡したところOKとのこと
で、雨のなかを湖上遊覧。華
厳の滝・龍頭の滝では、いず
れも水量が多く爽快な姿に堪
能。男体山の神と赤城山の神
が領地争いをしたといわれる
戦場ヶ原を車窓から眺め、奥
日光湯元温泉「湯元板屋」で
宿泊。

二日目は、朝からドンヨリ
とした曇り空で、天候が気にな
ったが案の定、バスを下り
たら降り、バスに乗ったら止
むというような意地悪な天気
になった。それでも吹割の滝
では、自然が創り出したとい
いえ、見事な情景に感激一入
その後伊香保温泉のシンボル
「石段街」を散策。ここでは雨
にあわなかったが、高峰三枝
子が歌う「湖畔の宿」の碑が
ある榛名湖では、雷をともな
ったドシャ降りの雨にみまわれ
名曲の情景に浸るのもそこそ
こに、バスに駆け込む騒ぎ。
やがて草津温泉に到着、宿泊
先の「ホテル一井」の真ん前
にある、これぞ草津温泉の実
感といわれる「湯畑」を中心
に思い思いに散策。

三日目は、前日までとは対
照的に見事な快晴に恵まれ、
浅間火山ルートから見下ろす
下界の絶景、白根山頂のエメ
ラルドグリーンの硫酸性水を
たたえた「湯釜」の素晴らし
い色、鬼押しハイウェイでは
噴煙をあげる浅間山の雄姿に
一同思わず感嘆の声をあげる。
その後、白糸の滝、軽井沢銀
座を散策して一路東京へ向か
い、車窓から都内遊覧して、
東京駅前で解散。
思えば、東京支部企画によ
る旅行会は、
平成8年11月 房総半島一周
平成9年5月 秋田県横手・角館方面
平成10年5月

葛西臨海公園を基点として 都内遊覧

平成12年6月
小淵沢・諏訪湖等信州方面
平成13年6月
会津・福島等東北南部
と続き、今回がもっとも多い
参加であった。

それぞれに語り尽くせない
思い出が残っているが、互い
に古希をすぎ、故障のない者
がいない中で今回で終わり？
いやいや続けてほしいの意見
がある。また、やるとすれば
毎年か？一年おき位か？など
の選択肢もある。いずれにせ
よ、顔をあわせて互いの無事
を喜び合い、旅を楽しむのが
趣旨であり、どの選択肢を選
ぶかは、会員多数の意志に従
って企画されるであろう。

なお、一日目の車中で、西
本君作詩による「友こそ宝」
(早春賦のメロディーで)と
いう歌が披露されたが、同窓
の心があふれているので、
その一節を紹介しよう。
ようこそ友よ
集いきたるや
若き面影 今も残りぬ
今日のよろこび
あしたへつなげん
時よとまれや
名残りつきぬ
又の会う日まで
健やかであれ
ふるさと会の
友こそ宝
浜田 正 郁

紫蘭会

恩師、中村美代子先生の三
回忌にあたる今年の紫蘭会は
平成十四年五月二十六日(日)に
宗右衛門町の「田舎そば」四
階にて開催しました。

を開いて逢える喜びを実感さ
せられます。
遠方から都合をつけて出席
してくれる友、体調や実生活
の雑用をクリヤーして集まっ
てくれた友と、お互いの健康
を気遣い、アドバイスし合っ
てお開きにしました。



紫蘭会は、
住商同窓会総
会の様子を報
告した後、卒
業後四十七年
を経たとも思
えない、若や
いだ雰囲気
中で色々な話
題に花が咲き
お店と約束し
た三時間がす
ぎても大部屋
は騒々しい位
に盛り上がり
時空を超え友
情を暖め合う
楽しさを感じ
ました。
会は色々な
事情で出席出
来ない人が多々居る中で、輪
番で幹事を引き受けてくれ、
毎年毎年この紫蘭会を開催し
続けてくれたクラスの人達の
努力が、四十七回も続く紫蘭
会の盛会につながっているの
です。
在学中、先生や親には反発
しても友の意見には耳を傾け、
心動かされた事を思い返すと、
たとえ一年に一度でも心の窓

後日、クラス四十二名の内
亡くなられた方も数名居られ
ますが、音信の途絶えた方の
探索をし、確認出来た三十名
の新名簿を作る事が出来まし
た。
紫蘭会では来年の開催日、
会場も満場一致で決まってい
る事から、次回の出席者がま
増える事を期待しております。
平成十四年度幹事

ふるさと会

二〇〇二年秋深き一日、一九五〇年度卒業の同窓会「ふるさと会」をホテルアウイナー大阪において、先生お二人（山本真徳先生、太田喜恵先生）をお迎えし同窓43名の参加で和気あいあいと盛大に開催されました。

私達は懐かしくもあたたかいこの会に出席できたことを本当に嬉しく、多くの友と幸せな時を共有させていただけたことを感謝しています。

先生方も会場にお越しのおり受付の方が同窓生と間違えられた位若々しく、矍鑠とされて、有意義なお話をいただき、この年になってこそより身にしみお聞かせいただきました。



一九三二年生まれの私は地域では老人会オンリーの日々、同窓会に出席して、いまだ第一線でご活躍の方も多く、関東からも数人、天橋立、伊勢志摩等々より出席と、先生始め、皆様の若さと心意気に圧倒されました。

私達は戦争さなか、それぞれ男子校、女子校に学び、終戦後登校しますと、男女共学、体育の時間も剣道、薙刀からダンスに変わっていました。日まぐるしく変わる時代の波を乗り越えて、耐えて、頑張ってきた皆様だからこそ、いま生きいきと前向きに生きていくのだと励まされました。思い出の内に、希望の光、あっという間に時経ち、益々盛会の最中、沸き上がった歌

声！私達の思いを級友が綴った詞です！皆で大合唱！

「友こそ宝」

一、幾重越えし人の世の波
学びの庭を出でて幾年
離れし友よ今日は集いぬ
語り笑いて心ゆくまで
二、ようこそ友よ集い来るや
若き面影今も残りぬ
今日のよろこび明日へつ
なげん
時よ止まれや名残りつめ
又の会う日まで健やかであれ

古里会の友こそ宝
これから先、私達は二十年も、もっともっと元気で会い続けよう！と心を決めました。

向井七美記

昭和31年卒 (8期A組)

クラス会を平成14年5月25日(土)に大阪道頓堀の「くだおれ」にて開催しました。その時の写真掲載します。



昭和54年卒業 6組同窓会

二十年ぶりに 会いました

私達の担任であった松井先生（通称ヘンビン）が、母校である住商の教頭先生として戻ってこられたことを聞き、何人かで会いに行つたことから二十年ぶりに同窓会をしようという声があがり、聞くことになりました。クラス四十五名中三十八名まで所在がわかり、連絡することが出来ました。昨年の春は、国際結婚したイギリス在住の同窓生が

日本に帰ってくるのに合わせて開催しました。当日、

天王寺H.O.P.の「庵」に集まったのは、松井先生を含めて約二十名。お店の前に、一人また一人と来る度に、「ワー！」「ワー！」「ワー！」と歓声があがり、お店の中でもそれは変わることもなく、再会は一瞬にして、学生時代にタイムスリップ。あまりの嬉しさに話はずみ、お店の人に「もうちょっと静かにして下さい」と何度も言われ、その度に口では「すみません」と言

いながら、おさまるはずもなく、テンションはますますあがる一方……。HRに一人ずつ「三分間スピーチ」をさせられた事の思い出や、学生時代の写真や卒業文集「夢玩具」を見ては「キヤリックキヤリック」と騒いでいました。それと併、異口同音に言っていたのは、白髪は増えたものの先生の髪型・顔つき・話し方が全然変わってないことが何故かおかしくて。(笑)私達はみんな家に帰ればそれぞれで、上は大学生から下は0歳の赤

ちゃんをもつ母親であったり、シングルライフを満喫する人もいて、多少なりとも、おばちゃんになったりして……。先生もあの頃は若かったはず？／＼なのにな変わってないんです！。

そんなこんなで楽しい時間は過ぎてゆき、最後にH.O.P.前の人が行き交う雑踏の中、集合写真をパチリ。(通りすがりの人に頼んでシャッターを押ししてもらいました)そして、別れを惜しみながら、次の再会を楽しみに解散しました。 滝野昌江記



▼お便り届いています

☆恩師より

▼元校長 藪本義雄先生
今年七十八才、平均寿命の歳。長寿組の仲間入り。毎朝長居公園を一周ウォーキングする。頑張っておられます。

▼元校長 浅利守光先生

(自分史作りの資料収集中)
昨年、農業祭・農産物品評会にプロックリーを出品。遂に特等第一席の榎原市長賞を受賞。他に菊作りもプロ並とのこと。

▼元校長 岡本健一先生

(関西外国語大学に勤務)
すっかり健康を回復、「山の会」に入り近畿の山々を踏破中。深田久弥さん推挙の「日本百名山」全てをクリア。

▼元教諭(敬称略・順不同)

池田千代子・小野寺八重(芦池→住商→鶴見) 大井節子(渥美→芦池→住商) 太田喜恵・近藤和江・進藤初江(住商→天商→八尾高)・鎌田剛・松本善次・吉田増治(住商→今宮工)・山本眞徳の各先生方より元気にしております。すのお便りを頂いております。

▼旧職員 小谷菊江

元気にしております
☆会員より(敬称略・順不同)
▼蛭間政三 昭和20年卒(旧2期生) 大阪府堺市在住
昨年11月9日、2期生の総

「心の故郷」母校便り

突然に投稿をお願い致したにも拘らず、快くご寄稿頂き誠に有り難うございました。出来る限り原文のままと思いましたが、勝手に一部編集させて頂きました。悪しからずお許し下さい。(編集委員)

会を開催。23名集り盛会でしたとのこと。お便りを頂いております。

▼稲葉光夫 昭和20年卒(旧1)

ゴルフは、月5・6回に俳句に開巻の勉強と忙しくしております。昨年ゴルフで夢のエイジシュート(年齢内で回ること) 38/39 計77で喜寿のお祝をしました。

▼高場昭二 昭和20年卒(旧1期生) 元気でです。

住商のその後動きはどうなっていますか。やはり普通校への転身となるようですか。住商の輝かしい伝統を永久に残したいですね。

▼松居 勝 昭和20年卒(旧1)

▽松居様 今回の会報に住商が新しい商業教育の創造をめざして、商業科総合選択制を実施することになりました。先輩諸氏の培われた良き伝統を守っております。ご安堵下さい。常々住商への思いやり、感謝致しております。

(同窓会役員一同)

▼大江賢太郎 昭和21年卒(旧3)
愛知県瀬戸市在住 元気です。趣味の写真同好会でペンションカウベル(昭和44年卒竹中一雄さん経営)を利用されたとのこと。

謹んでお悔み申しあげます。

長 沢 修氏
(昭和34年卒 第11期生)

母校近況

平成15年4月1日現在 生徒在籍数

Table with 5 columns: クラス, 男子, 女子, 在籍者. Rows for 第1学年, 第2学年, 第3学年, 合計.

進路状況について

進路指導部主任 西田昌昭

本年度の三年生の進路状況は別表の通りです。就職については長く続く不況の影響を受け、マスコミ等でも報道されているとおり、本校にとっても非常に厳しくなっています。求人数の減少が第一に挙げられますが、他校生との競争も厳しくなっています。

大学短大への進学希望者は年々増えています。本校から一定数の生徒が入学できる指定校推薦制度以外に、公募推薦制度、AO入試、一般入試

高度な技術に感心

下水道管敷設工事 住吉商高生が見学

近畿二府四県の百十二校が出場して、IMPホール(大阪市中央区)で平成十四年八月十七日から開かれた、高校軽音楽系クラブの学校対抗バンドコンテスト「We are sneaker Ages 2002」(産経新聞社、三木楽器主催、キャットミュージックカレッシュ専門学校特別協賛)の優秀校十八校の中に住商フォークソング部が選ばれました。



社会資本整備や予算の使い方について学ぼうと、住吉商業高校の一年生約二百四十人が近くの下水道管の敷設工事現場を見学した。今年から高校で本格導入される「総合的な学習の時間(総合学習)」の試行の一環で、「経験を積み重ねることで総合学習を充実させたい」としている。工事は市発注の「南住吉一加賀屋幹線下水道管渠築造工事」。約一年前、美術部の生徒が地上工事部分の防護さくにかける絵を描いたことがきっかけで実現した。ヘルメットをつけた生徒たちは横穴の最先端まで進み、遠隔操作の掘削機械や下水道の役割などの説明を受けた。(14年9月25日 氷 読書新聞)

進路状況 (平成15年2月25日現在)

Table with 4 columns: 就職, 大学・短大, 専門学校, 家事・その他, 計. Rows for 男, 女, 計.

()内は希望者

平成14年度 同窓会決算書

(単位 円)

収入の部

項 目	14年度予算	収入額	予算比	摘 要
前期繰越	1,188,776 円	1,188,776 円	0 円	
同窓会費	1,120,000	1,065,000	△ 55,000	5,000円×213名
臨時会費	50,000	34,000	△ 16,000	懇親会会費
協力金	150,000	86,000	△ 64,000	
名簿売却	750,000	657,000	△ 93,000	3,000円×219名
雑収入	10,000	329	△ 9,671	受取利息
合 計	3,268,776 円	3,031,105 円	△ 237,671 円	

支出の部

項 目	14年度予算	支出額	予算比	摘 要
總會費	400,000 円	407,803 円	7,803 円	母校にて懇親会費用
会議費	50,000	29,400	△ 20,600	役員幹事会費用
通信・発送費	300,000	250,922	△ 49,078	会報発送郵送料及び連絡費
印刷費	300,000	387,345	87,345	会報印刷費
名簿制作費	750,000	750,000	0	
名簿保守料	111,300	110,250	△ 1,050	データ改訂費用
交際費	50,000	35,000	△ 15,000	
70周年積立	100,000	100,000	0	記念事業費用
学校行事協力費	30,000	30,000	0	文化祭等
八商會費	50,000	50,000	0	
雑費	30,000	0	△ 30,000	
合 計	2,171,300 円	2,150,720 円	△ 20,580 円	

収入の部 3,031,105 円 支出の部 2,150,720 円 次期繰越額 880,385 円 △印 予算比減

母校70周年記念事業積立金

(単位 円)

項 目	前年迄積立	本年積立額	合計積立額
定額郵便貯金	100,000 円	100,000 円	200,000 円

★上記決算書以外に住商有英資金運営委員会より借入金2,000,000円が存在致します。

平成15年4月10日 以上の通りご報告申し上げます。 会長 後藤 雄
上記決算書の監査の結果、正確であることを認めます。

会計監査 野手 博
" 足立 敏雄

平成15年度 同窓会予算案

(単位 円)

収入の部

項 目	14年度実績	予算額	増 減	摘 要
前期繰越	1,188,776 円	880,385 円	△ 308,391 円	
同窓会費	1,065,000	1,080,000	15,000	5,000円×216名
臨時会費	34,000	50,000	16,000	懇親会会費
協力費	86,000	100,000	14,000	
名簿売却	657,000	684,000	△ 9,000	3,000円×216名
雑収入	329		△ 329	
合 計	3,031,105 円	2,758,385 円	△ 272,720 円	

支出の部

項 目	14年度実績	予算額	増 減	摘 要
總會費	407,803 円	400,000 円	△ 7,803 円	母校にて懇親会費用
会議費	29,400	30,000	600	役員幹事打合せ費用他
通信・発送費	250,922	250,000	△ 922	会報郵送費用他
印刷費	387,345	350,000	△ 37,345	会報印刷代等
名簿制作費	750,000	750,000	0	
名簿保守料	110,250	110,250	0	データ改訂費用
交際費	35,000	50,000	15,000	祝儀、不祝儀、餞別等
70周年積立	100,000	100,000	0	記念事業費用
学校行事協力費	30,000	30,000	0	文化祭協賛
八商會費	50,000	50,000	0	
雑費	0	29,750	29,750	
合 計	2,150,720 円	2,150,000 円	△ 720 円	

収入の部 2,758,385 円 支出の部 2,150,000 円 次期繰越額 608,385 円 △印 前期実績比

住商育英資金運営委員会報告 (単位 円)

項目	金額	摘要
前期繰越財産	10,997,561円	
増加分寄付金	50,000	旧職員 松井一雄様、昭38年卒 中道和子様
預貯金社債利金	24,951	トウキョウキョウキョーポ及び南海電鉄社債ほか
減少分記念品	△ 165,795	記念品贈呈者 25名
次期繰越財産	10,906,717	

◆ 松井一雄様 (旧職員)、中道和子様 (昭38年卒)
ご寄付誠に有り難うございました。お礼申し上げます。

【次期繰越財産内訳】

項目	金額	摘要
普通預金	818,485円	りそな銀行難波支店
定期預金	2,000,000	りそな銀行難波支店
郵便貯金	88,232	住吉大社前郵便局
定額貯金	2,000,000	住吉大社前郵便局
トウキョウキョウキョーポレーション社債	2,000,000	償還日 2004年11月10日
南海電気鉄道(株)社債	2,000,000	償還日 2005年4月12日
貸付金	2,000,000	同窓会一般会計へ
合計	10,906,717	

☆住商育英資金運営委員会

経過報告

- 平成十四年度の活動に関し、左記の通りご報告申し上げます。
- 今年度も卒業生対象に在学中活躍の顕著な学生に対し、同窓会賞として記念品を授与しました。「対象者」二十五名
 - 育英資金の現況報告は、左記の通りです。
 - 貸付金は、同窓会一般会計に対する分です。
- 以上ご報告申し上げます。

平成15年4月10日
以上の通りご報告申し上げます。
委員長 扇谷 順介

同窓会にご協力
頂きました方々

- ご協力誠に有難うございました。お礼申し上げます。
(敬称略・各期五十音順)
- 旧3期 (昭和20年卒) 大江 賢太郎
 - 旧5期 (昭和24年卒) 扇谷 順介
 - 高1期 (昭和24年卒) 野手 博
 - 高6期 (昭和29年卒) 後藤 明
 - 高8期 (昭和31年卒) 松田 忠夫
 - 高12期 (昭和35年卒) 若林 治
 - 高14期 (昭和37年卒) 杉浦 勇
 - 高18期 (昭和41年卒) 林 恵
 - 高23期 (昭和46年卒) 半田 実
 - 高24期 (昭和47年卒) 玉岡 宏
 - 高25期 (昭和48年卒) 古橋 幸弘
 - 高26期 (昭和49年卒) 永村 洋子
 - 旧2期 (昭和20年卒) 山中悦子
 - 高7期 (昭和30年卒) 有志一同
 - E組 紫蘭会
 - 関東ふるさと会

編集後記

「どうでっか」「あきまへんなあ」「さっぱりでんなあ」、よく聞く言葉、低迷の続く出口のないトンネルに入ったような経済状況の中、沈みがちな気分に見出す事があった。

3月6日 母校の卒業証書授与式に列席した。校長の式辞のなかで4つの約束事(大きな夢、生活基盤の確立、感謝の気持、友人を

大切に)を胸に秘め、明るく希望に満ちて果立っていった若者達です。ただ、気になる事が、卒業生の歌でS.M.A.Pの「世界に一つだけの花」の歌詞が大きな夢でなく小さな夢に終わっている事です。

最後の方の歌詞が、名前も知らなかったけれどあの日僕に笑顔をくれた誰も気づかないような場所で咲いていた花のようにそっさ僕らも世界に一つだけの花

一人ひとり違う種を持つその花を咲かせることだけに一生懸命になればいい小さい花や大きな花一つとして同じものはないから No.1にならなくてもいいもともと特別な ONLY ONE ですか??

無限の可能性を秘めた若者が、この歌詞のように小さな型にはまらない事を願うのみ。大志を抱いてほしい! 「儲かりまっか」「まあまあでんな」「ぼちぼちでんな」この言葉聞きたい。(T・M記)

住商育英資金にご協力を!

ご周知のように昨今の低金利で運用益も期待できない状態です。皆様の浄財を、郵便局の振込用紙にてお振込み頂ければ幸いです。よろしくお願い申し上げます。

★ 郵便振替口座
No.00970-2-107537
口座名 住商育英資金運営委員会
◎(お近くの郵便局からお振込み下さい。手数料は不要です。)

◎ 会員の皆様へ

年々新入会員減少のため、会費の収入が少なくなっております。一人でも多くの方々に会報をお届け致したく思っております。皆様の浄財を次の口座にお振り込み頂ければ幸いです。何卒、よろしくお願い申し上げます。

りそな銀行 難波支店
普通預金 No.2550832
口座名 大阪市立住吉商業高等学校
同窓会長 後藤 雄
お振込みの折には氏名と卒業年をお忘れなく

各会だよりお寄せください

◎開催年月日、場所、参加人数、招待恩師名等、簡条書きで、また、次回予告も併せ付記していただいても結構です。尚、原稿用紙1枚(20×20)程度の記事と当日の写真がありましたら添えて頂ければ幸いです。

(注=FAXでの写真送信は不可)

《送り先》〒559-0013 大阪市住之江区御崎7-12-55
大阪市立住吉商業高等学校同窓会事務局
TEL 06-6681-0577 FAX 06-6686-1734